

配信日：2020年05月26日

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、および関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い収束を心よりお祈り申し上げます。

こんにちは、岩井ファルマテックのメールマガジン【Iwai Pharma Tech通信】です！突然ですが私は占いやゲン担ぎが大好きで、小さい頃は外に出ては四葉のクローバーを探しているような子供でした。先日家で緑茶を飲んでいたら、久しぶりに茶柱を見つけ、いつもは気にもしませんが、偶然見つけると小さい幸せを感じるものですね。さて今月号では、私たちの生活を支える「小さな物質」である、ナノマテリアルの濃縮・分級処理技術について紹介します。

◆1:ナノマテリアルの可能性と膜分離

◆2:ナノマテリアルの処理は岩井ファルマテックの膜分離技術で！

◆1:ナノマテリアルの可能性と膜分離



ナノマテリアルを用いた製品製造の課題は、
①目的濃度までの濃縮と②反応で生じた不純物の除去です。

これら課題に対しては、製造ラインに分離技術を導入して対処することが常套手段となっています。

分離技術の中でも、膜分離は①と②両方に対して、非常に有用です。

ナノマテリアルに対して膜分離で出来るアプローチは様々であり、その例を下記に示します。

1.濃縮・精製

・膜分離で、ますます小さくなっているナノマテリアルの濃縮、精製が可能

従来法では難しかったナノマテリアルの濃縮と精製が、対応可能に！

・最終製品まで分散状態を維持したまま処理が出来る。

・高濃度まで濃縮した際でも、粒子の凝集などによる品質低下が比較的低い

2.溶媒置換

・溶媒は膜を通過して系外に排出されるので、他の溶媒を連続的に供給し続けることで、溶媒を置換させることが出来る。

・処理中に装置を停止させる必要がないため、処理効率が高い。

3.分級

・他の分離装置と組み合わせることで、任意の粒径毎に粒子を分級することができる。

分級した粒子分散系を濃縮・精製することで、最終製品に更なる付加価値を与えることができる。

**詳しくはクリック！
「ナノマテリアルの濃縮・精製」**

◆2:ナノマテリアルの処理は岩井ファルマテックの膜分離技術で！

膜分離とナノマテリアルの相性は抜群であることがお分かり頂けたかと思います。当社の膜分離技術では、ナノマテリアルの濃縮・精製・分級の一括処理を実現します！最終製品を高効率で生産し続ける事が可能です。お客さまの扱うナノマテリアルの性状や処理の目的に応じて、最適な処理システムをご提案致します。

茶柱が立つと縁起が良いと言われているのは有名ですが、理由について諸説があるようです。その中でも、古事記に由来にあるという説もあります。大黒主の命が須勢里毘売と結ばれた際に宮殿が造られました。その際に建てられた柱によって、柱を建てる事が神事となったそうです。これをキッカケにお茶の中に立った茶柱も、縁起物となったと言われているそうです。なんだか素敵な理由ですね！



発行元

岩井ファルマテック株式会社 メルマガ配信チーム

岩井ファルマテック株式会社

〒144-0033 東京都大田区東糞谷3-17-10

TEL : 03-5737-7171

FAX : 03-5737-7172

<http://www.iwai-pt.co.jp>